

3. 本格復旧に向けた取り組み

- 本格復旧に向けた取り組みを通して、被災地における信頼性レベルを震災前に復旧させるとともに、被災地復旧にあわせ、今後拡大する生活圏の需要に対応する等、安定した通信サービスの提供を目指す。
- 更に、今回の震災を踏まえた『通信ネットワークの更なる信頼性向上』施策を全国エリアで進めるよう検討する。

応急復旧 H23. 4

フェーズⅠ H23. 7

- 通信ビルの整備
 - ・外壁や窓の修復、空調設備新設 等
- 中継伝送路の2ルートを確保
 - ・切断箇所の接続 等

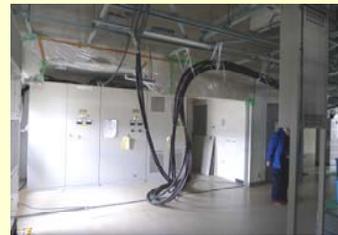


＜空調設備を新設するとともに
ベニヤから本格壁に取替え空調効果を確保＞

フェーズⅡ

H24. 3

- 設備を震災前の信頼性レベルに復旧
 - ・ビル損壊に対応し設置したBOXへの伝送路の地中化・セキュリティ確保 等
 - ・応急復旧設備(仮架空ケーブル、他局収容等)の解消
 - ・電力設備の本格対処(劣化バッテリー取替え、電力室への移設等) 等
- 被災地復旧にあわせ拡大する生活圏への対応(被災エリアでの需要対応等)



＜仮設置した電力設備を本格復旧＞

- 今回の震災を踏まえた信頼性向上施策を全国エリアに展開
 - ・広域災害を踏まえた中継伝送路の信頼性向上
 - ・ネットワーク機能分散による信頼性向上(被災時の更なる早期復旧の実現等)
 - ・アクセス設備における重要ルートの地中化、地下からの引き上げ区間の被災対策
 - ・通信ビルの防水対策の強化 等

本格復旧

更なる
信頼性向上